

Doc. No.: NR050727

2005年7月27日

## 新聞社向けのサーマルCTPを発売 ～トータルパフォーマンスに優れた普及機を新たにラインアップ～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：垣内 永次)は、シングル胴輪転印刷機を保有する新聞社に向けて、サーマルCTP(=Computer to Plate)装置「PlateRite News 2000」を2006年1月から世界同時に発売します。

「PlateRite News 2000」は、印刷用デジタルデータをレーザーで刷版(プレート)に直接出力するサーマルプレートレコーダーを新聞業界向けに特化させた新機種で、海外で主流の1L1W版<sup>※1</sup>で1時間当たり80版、国内で一般的な1L2W版<sup>※2</sup>で1時間当たり40版を出力でき、瞬発力が求められる新聞の製作工程において高い生産性を発揮します。また、標準的な出力解像度のほか、世界各国の新聞社で必要とされる業界特有の解像度をハードウェア面でサポートしているため、品質を劣化させることのない出力が可能です。最大版サイズは980×685mm、最小版サイズは290×460mmに対応し、刷版の供給・排出の自動化にも標準対応。コンパクトな装置サイズを実現し、高生産性、低価格、省スペースなど、顧客ニーズに応えるクラス最高レベルのトータルパフォーマンスを実現しています。

カラー紙面の増加に伴い、今後新聞業界では、より一層品質に対する要求が強くなると予想されます。「PlateRite News 2000」は、商業印刷用サーマルCTPで培った技術を活用し、高品質な版を安定して供給することにより、このような業界の動向に対応するとともに、CTP装置の導入による新聞社の新たな生産スタイルの確立に貢献します。

当社は、昨年6月の「PlateRite News」の発売により、高い需要が見込まれる新聞業界に参入しました。そして、今回の「PlateRite News 2000」のリリースは、当社のCTP装置を同業界のスタンダードとして確立させるセカンドステップと位置付けています。今後当社は、CTP装置の世界トップメーカーとして製品ラインアップを一層充実させ、同業界のさまざまな需要に柔軟に対応するとともに、各種印刷業界を包括した世界規模のシェア拡大を図っていきます。

なお、この装置は、アメリカ・シカゴで開催される「PRINT05」(9月9日～15日)、東京ビッグサイトで開催される「JGAS 2005」(10月4日～8日)および「JANPS 2005」(11月15日～18日)に出展します。

※1 新聞紙1ページサイズの版を表す。海外で多く利用されている版サイズで、一般的なサイズは320×600mm。

※2 新聞紙を見開いたサイズの版を表す。国内では890×586mmのサイズが主流。

### <国内希望販売価格(消費税別)>

3,000万円

### <国内販売開始予定>

2006年1月

### <年間販売予定台数>

60台



**PlateRite News 2000**

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。  
(<http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

<製品に関するお問い合わせ先>

- 大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 営業企画部  
Tel 075-414-7610 Fax 075-414-7608  
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1
  
- 大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 国内営業部  
Tel 075-417-2642 Fax 075-414-7620  
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1